

令和4年度 第2回丸亀市環境審議会 議事次第

日時：令和4年11月24日（木）

13：30～15：00

場所：生涯学習センター4階 講座室3

出席：委員8名、(欠席7名)

事務局4名、委託者4名

■次第

1 開会挨拶

2 議事

- (1) 地球温暖化・昨今の動向について（振り返り）
- (2) 丸亀市の温室効果ガス排出量（現況把握、将来推計）
- (3) 丸亀市の再生可能エネルギー導入ポテンシャル
- (4) 地球温暖化に関する市民・事業者向けアンケート結果（概要）
- (5) 今後の予定

3 その他

■資料

資料1 概要版

資料2 地域特性と課題の整理

資料3 丸亀市の温室効果ガス排出量の将来推計

資料4 再生可能エネルギーの利用可能量

資料5 地球温暖化防止に関するアンケート調査結果（市民）

資料6 地球温暖化防止に関するアンケート調査結果（事業者）

資料7 丸亀市の地域特性（まとめ）

■議事概要

1・開会

・矢本副会長挨拶

2・議事

- (1) 地球温暖化・昨今の動向について（振り返り）
- (2) 丸亀市の温室効果ガス排出量（現況把握、将来推計）
- (3) 丸亀市の再生可能エネルギー導入ポテンシャル
- (4) 地球温暖化に関する市民・事業者向けアンケート結果（概要）

<事務局（委託業者）>

- ・（１）～（４）について、資料１を用いて説明

【質 疑】

<委 員>

・特定事業所（12社）が産業部門の温室効果ガス排出量の約４割を占めるということだが、対象の特定事業所はアンケートを返してきているのか。排出量の大部分を占める、特定事業所の意向を確認したうえで、今後対応すべきである。

<事務局（委託業者）>

・今回のアンケートは、無記名回答のため、特定事業所のアンケートの返信の有無や結果を特定することはできない。

<委 員>

・温室効果ガス排出量の算出については、生物の呼吸から出る二酸化炭素の排出量も考慮されているのか。

<事務局（委託業者）>

- ・含まれていない。

<委 員>

・温室効果ガス排出量の算出について、農林等で吸収される量も考慮されているのか。

<事務局（委託業者）>

- ・森林の吸収による排出量についても考慮したものとなっている。

<委 員>

・太陽光発電を主体とした計画となっているが、太陽光パネルの生産量などを見越した計画となっているのか。太陽光パネルを導入する際に、パネルが足りなくて導入できない、というような事態とならないように事前に確認しておくべきではないか。

<事務局（委託業者）>

- ・本検討ではパネルの供給量は検討していない。

<委 員>

・資料１ P.18 産業部門のエネルギー消費原単位を年平均１％低減としているが、それは実績値なのか。年１％低減というのは厳しい値であると思う。直近の実績値を採用するべきではないかと思う。

<委 員>

・田んぼに太陽光パネルを設置することによる熱の発生など、デメリットはないのか。家の屋根に太陽光パネルを設置することに対して、元は取れるのか。太陽光パネルを設置することはいいことだとは思いますが、経済的な理由により実現することは難しいのではと思う。

<委 員>

・今、意見のあった太陽光パネルの設置にかかる費用に関しては、屋根貸し（PPA）の手法も含めて周知していく必要があると思う。また、高齢者にとっては、太陽光パネルを設置するという事は、経済的な理由、年齢的な理由によりなかなか難しいのではないかと思う。

<委 員>

- ・太陽光パネルは、何年後かに処理が必要となる。処理の方法など、まだまだわからない

いことが多く、課題が多い。

<事務局（委託業者）>

・太陽光パネルを設置するメリットだけでなく、デメリットや処理の方法などについても、丁寧に周知していく必要があると考えている。

<委員>

・家庭での太陽光パネルの設置について、新築についてはよいが、既設の家への導入は難しいのではないかと思う。また、太陽光パネルを設置することはいいことだとは思いますが、経済的なことを考えると躊躇してしまうのではないかと思う。

<委員>

・温室効果ガス排出量の削減目標数値を示すだけでなく、目標値と施策をセットで提示する必要があると思う。

<事務局（委託業者）>

- ・屋根貸しの手法についても、今後周知していく必要があると考えている。
- ・次回、環境審議会にて数値だけではなく、施策もお示しする。

<委員>

・説明を聞く限り、再生可能エネルギーのうち、導入可能性のあるのは太陽光しかないという感じを受けた。太陽の推進には市民への意識啓発が重要であると思う。また、蓄電池も同時に導入する必要があると思う。それらを含めての施策を提示し、取り組んでいくことが必要と思う。

<委員>

・資料1 P.34 など、今回のアンケート結果を活かした施策を考えてもらいたい。現時点で取組が進んでいない施策に注力するなど、アンケート結果を活かした施策を推進してもらいたい。

<事務局（委託業者）>

- ・アンケート結果を踏まえ、施策を検討する。

<委員>

・資料1 P.16、運輸部門で温室効果ガス排出量が2050年度に向けて増加しているのはなぜか。

<事務局（委託業者）>

・直近10年程度のトレンド（傾向）により算出しており、直近10年のトレンド（傾向）が増加傾向にあるためである。

<委員>

・資料1 P.3、地球の平均気温が1.5度上昇することにより、我々にどのくらいの影響があるのか。それを市民に説明し、「我がこと」として認識してもらう必要があるのではと思う。動植物が死滅する、食物の産地が変わる、今まで取れていた魚が取れなくなるなど、市民に具体的にどのような不利益が生じるかを感じてもらう必要がある。

<事務局（委託業者）>

・環境省などが作成した資料があるので、それらを引用し、具体的な影響について市民に周知することを検討する。

<委員>

- ・アンケートの設問において、水面下のこと（ブルーカーボン）について触れられてい

ない。ブルーカーボンの取組についても、検討していく必要があると思う。

<委員>

- ・一般市民でも分かりやすい資料を作ってもらいたい。

<事務局（委託業者）>

- ・様々な取組について市民にも分かりやすい資料を作成する。

(5) 今後の予定

<事務局（委託業者）>

- ・資料7を用いて、今後の丸亀市の再生可能エネルギー導入の取組（方向性）について説明
- ・資料1を用いて、今後の予定について説明

【質 疑】

<委員>

・丸亀市は、住みやすく本当にいいところだと思っている。今まで大きな災害もなく、平穏なところである。そのようなところでは、ゼロカーボンの取組は進みにくいのではないかと個人的には思う。この機会に、市民の意識改革に取り組んでいく必要があると思うし、温室効果ガスの排出量取引なども取組んでいく必要があると思う。

<委員>

・どこもかしこも太陽光パネル、というのはどうかなと思うところもある。地域特性にあった施策を導入して行ってもらいたい。

<委員>

・丸亀市は住みたいまち、というアンケート結果もある。それらの特性を維持しつつ、施策を検討してほしい。

<委員>

・丸亀市は公共交通の利便性が悪いところであると言われている。埼玉県吉川市では、公共交通の利便性が良いと言われている。資料7で公共交通のことを取り上げるのであれば、公共交通についても対策を検討していく必要がある。

<事務局（委託業者）>

・公共交通については、本審議会では検討対象外である。温室効果ガス排出量の削減に向けて、公共交通に対して導入できる施策についても提案していくという位置づけである。

3・その他

- ・特になし

4・閉会

以上